

競技注意事項

1. 規則について

本大会は2019年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 競技場使用上の注意

- 1) 競技場は全天候舗装である。なお、スパイクは11本以内で長さは9mm以下とする。ただし、走高跳及びやり投の場合は12mm以下とする。
- 2) 観戦はスタンドで行い、大会本部付近や競技場内にはむやみに立ち入らないこと。また、集団応援はサイド、およびバックスタンドのみ認める。
- 3) 許可を得ていないカメラやビデオによる撮影を禁止する。学生については原則として所属する大学のジャージを着用して撮影すること。学生以外で撮影を希望する場合は大会本部内受付へ申し出を行い、撮影許可証を着用し撮影すること。

3. ナンバーカードについて

- 1) ナンバーカードは学連登録時に配布したもの2枚を胸部と背部に確実につけること。ただし、跳躍競技の場合はどちらか一方でもよい。
- 2) トラック競技の場合は招集所で配布される腰ナンバーカードをつける。また、レース終了後フィニッシュ付近で係員に返却すること。
- 3) 男女10000mWは、招集時に配布するナンバーカードを胸につけること。

4. 各種書類について

大会当日の各種書類の配布及び提出場所については、下表の通りとする。

表1：各書類の配布場所、提出先、依頼先

書類名	配布場所	提出先・依頼先
棄権届	招集所	招集所
リレーオーダー用紙		
重複届	大会本部	大会本部
記録証明書		

5. 招集について

- 1) 競技者招集所は、メインスタンド北側器具庫前(100mスタート側)に設ける(表1)。
- 2) 招集時間はタイムテーブルの通りとする。
- 3) 代理人による最終点呼は認めない。
- 4) 招集時間が他の種目と重なる場合、事前に主催者側が用意の重複届を競技者係に提出すること。
- 5) リレーオーダー用紙は主催者が用意したものに限る。オーダー用紙は招集所で配布する(表1)。リレー種目に出場するチームは、オーダー用紙を当該種目の招集開始60分前までに招集所(競技者係)に提出すること(表1)。
- 6) 招集完了時間に遅れた選手(チーム)は、当該種目を棄権したものとして処理されるので十分注意すること。

6. 棄権について

- 1) 当日やむなく棄権する場合は、棄権届（招集所に用意）に必要事項を記入し、捺印（サインでも可）したものを招集所に提出すること（表1）。
- 2) 棄権届を提出せずに棄権した場合は、今後の大会等にペナルティを与える場合がある。また、招集に遅れた場合もこれに準ずるので十分注意すること。

7. 用器具について

競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用しなければならない。但し、棒高跳用ポール及び投てき物は個人所有のものを使用することができるが、投てき物は事前に検査を受け、許可されたものとする。なお、検定を受けて許可を得た投てき物は、主催者借り上げの共有物とする。検定は、招集開始60分前から招集開始時刻まで招集所にて行う。

用具	検査場所及び返却場所
砲丸、円盤、やり、及びハンマー	岐阜メモリアルセンター長良川競技場 南倉庫内（100mフィニッシュ側）

8. 競技について

- 1) トラック競技の時計は、すべて電気計時（1/100 秒）を用いて行う。
- 2) 以下の種目については、スタート後一定時間を経過して残り1周に達していない場合、または競技日程に支障があると判断した場合、審判長の指示により競技を中止させることがある。
 - ・男子10000mW、女子10000mW：スタート後58分
- 3) 跳躍競技（高さで順位を決定する競技）のバーの上げ方は下表の通りとする（表2）。

表2：男女走高跳、男女棒高跳のバーの高さ設定

種目	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	9	以降
男子走高跳1組	1m70/1m80	1m75	1m80	1m85	1m90	1m95	1m98	2m01	2m04	2m07	以後3cm
男子走高跳2組	1m85/2m00	1m90	1m95	1m98	2m01	2m04	2m07	2m10	2m13	2m16	以後3cm
女子走高跳	1m40/1m60	1m45	1m50	1m55	1m60	1m63	1m66	1m69	1m72	1m75	以後2cm
男子棒高跳	4m00/4m50/5m00	4m00	4m20	4m40	4m50	4m60	4m70	4m80	4m90	5m00	以後10cm
女子棒高跳	3m00/3m30/3m50	3m00	3m20	3m30	3m40	3m50	3m60	3m70	3m80	3m90	以後10cm

※1. 第1位決定試技の際のバーの上げ下げは、走高跳は2cm、棒高跳は5cmとする。

※2. 第1位が決まった後にバーを上げる場合、当事者は該当審判員または審判長に希望の高さを申し出てから高さを決定する。

※3. 天候等に応じて審判長の判断で開始の高さを変更する場合がある。また、天候に応じて上記のバーの上げ方を該当審判員または審判長の判断で変更する場合がある。

4) 三段跳について

三段跳の踏切位置は男子12m、女子10mとする。男子の踏切位置は資格記録により主催者側が変更する場合がある。該当審判員または審判長の判断で変更する場合もある。

5) 走幅跳について

男子走幅跳は、スタンド側をAピットとし、トラック側をBピットとする。

6) 走高跳について

メインスタンド側をAピット(1組)とし、バックスタンド側をBピット(2組)とする(表2)。

7) 投てき種目について

投てき種目は競技時間短縮のため、3回目までの試技終了後、最も記録の良い試技のみを計測する。4回目以降も同様に、6回目までの試技終了後、最も良い試技を計測する。

9. 給水について

5000mおよび10000mWについては天候に応じて水とスポンジを用意し、バックストレート側に給水所を設置する。給水後のコップ、スポンジについて他の競技者の妨害になるような捨て方は厳禁とする。

10. 表彰について

- 1) 表彰は1位から3位までの入賞者について行う。該当者は成績発表後、速やかに正面玄関ロビーの受賞者集合場所に待機し、表彰係の指示に従うこと。
- 2) 表彰式の際の服装は、学章やチームロゴの入った公式チーム T シャツあるいは公式チームジャージ（ハーフパンツ可）を着用する。
- 3) 閉会式において、1年生の出場者の中から男女若干名につき新人賞の発表、及び表彰を行う。

11. 抗議と上訴について

競技結果の正式発表時間は、大型スクリーンに結果が発表された時間を基準とする。

競技会進行中に起きた競技者の行為、または順位に関する抗議は、結果が正式発表されてから30分以内（同一日に次のラウンドが行われる種目は15分以内）に、その競技者あるいはチームの代表者により担当総務員を通じて口頭で審判長に申し出なければならない。審判長の裁定を不服とし、さらに抗議をする場合は、上訴申立書と預託金10,000円を添え、担当総務員を通してジュリーに上訴することができる。この預託金は、抗議が受け入れられなかった場合は没収される。この間の事務的処理は担当総務員が行い、抗議者は大会本部で待機する。

12. 応急処置について

競技中の事故やケガについては医務室において応急処置を行うが、その後の治療は本人の負担とし、事故の結果について、本連盟は一切責任を負わないものとする。ただし、2019年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。

13. その他

1) 公開トレーナーについて

本大会では、トレーナーが競技者のコンディショニングと応急処置を行う。出場者は誰でも利用することができる。

2) 競技会において競技者は携帯電話もしくは類似の機器を競技エリア内へ持ち込んではいない。

上記内容および本大会の規則については、大会役員の協議が最終決定権を持ち、これは変更になる場合があるので、アナウンスや掲示板に注意すること。また、学生競技者としてのマナーに逸脱するような行為があった場合は、処罰を与える。